



# 輝け 未来へ 中番校

## No one will be left behind



**NLP (NAKABAN LEARNING PROJECT)。あと一週間となりました！**

**-Change (変革) ,Challenge (挑戦) ,Continue (継続) -**

カレンダーを見ると、来週の月曜日は、早くも「立冬(りっとう)」です。いよいよ冬の到来です。時の流れの速さを感じずにはられません。季節は留まらず動いています。

さて、2学期の9月7日より10週間、取り組んできたNLP (NAKABAN LEARNING PROJECT) も、いよいよあと1週間となりました。昨日、こんなことがありました。ある児童が、問題集を持って私のところへやってきました。尋ねてみると、問題集の問題で分からないところがあったので、聞きにきたということでした。早速、問題を一緒に解きました。説明し、問題を解き終えて、私が、「問題集、出していきますか。」と尋ねると、「〇を付けてから提出します。」と答えてくれました。ほんの5分、あったか、なかったかの出来事でしたが、その後、何か、嬉しく、微笑ましく、そして、その児童の一生懸命さ、遅しさを感じました。普段、学級から出される宿題もあるでしょう。子供にとっては、考えようによって、これは余計な学習？とも思えることもあるでしょう。先生方、お家の方の声掛けや応援によって取り組みがなされる場合もあるでしょう。でも、実際にするか、しないかは、結局、最終的には、その子自身の気持ちということになるのだと思います。その子は、結果的に、そこに価値を見出し、取り組んでくれたということになります。本当に立派だと思いました。また、次の学年の問題集をしている子供もいますが、その場合、付箋が付くことにはある意味、仕方がないことです。それは、まだ学習していないということなので…。でも、その付箋の箇所をきちんと、赤で訂正してきてくれる子供がいます。本当に感心します。どんな思いで、どんな気持ちで、問題を

考えて、解いて、間違ったところの付箋の箇所を直しているのでしょうか。色々な思いが錯綜しているのだと思います。このNLPは、子供達にとっては、少し期間が長い取組となりました。継続することが難しい児童もいたことでしょう。今、息切れしてしまっている児童もいることでしょう。ただ、**提出を重ねてくれた児童の問題集には、明らかに変化が生じています。**まず、書かれている字です。格段に丁寧さが増しています。しっかりとした字に変わってきました。字には、どうしても癖がでます。それは仕方がないことです。しかし、丁寧さは、一人一人が気を付けることができます。次に、一度、付箋が貼られ、指摘されたこと、例えば、表記上の違いです。ただの数字か、文字か、○数字か、○文字か、その区別ができるようになってきました。また、文章表現では、文末の句点「。」を忘れる児童が多かったのですが、回を重ねるときちんと付けられるようになりました。算数では、答えの表記に注意が向くようになりました。単位や答えの記載の仕方、数字しか書けてなかったものが、「○が□個、多い。」というように、答えの文章表現が正確になりました。理科や社会では、その文章表記において、意味が分かる、主述の関係がしっかりとした文章表現が多く見られるようになりました。このように前学年迄の学習内容を学習しながら、その学習方法にも慣れて欲しいと考えていました。**これからの時代、自らが主体的に学習していく姿が求められています。その一歩がここにあると考えています。**この取組も、残りあと1週間となりました。子供達には、最後の追い込みをして欲しいと思います。「もういいや。」「どうせ、最後まで、できないし…。」と諦めてしまう児童もいるかもしれません。でも、**学習に終わりはなく、いつでも、再スタートは切れるのです。あと、1週間、自分が出来る限り、真面目に、誠実に、真摯に、努力するそんな子供達の姿を見たい、そう思っています。**あと、1週間、ご家庭でも「最後まで、期間いっぱい、頑張りなさい。」と応援いただくと大変、嬉しく、ありがたく思います。保護者の皆様、何卒、よろしくお願い申し上げます。